

がんセンターだより

あいの こころ

Philosophy
Art
Humanity

11 月号
2023



表紙写真：歯科口腔外科の医師と歯科衛生士

- P.1-2 がん治療における口腔ケアの役割
- P.3 かかりつけ医を持ちましょう / 紹介受診重点医療機関となりました
- P.4 ロゴマークが新しくなりました
- P.5 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 とちぎ
- P.6 がん相談支援センターのご案内



地方独立行政法人

栃木県立がんセンター

Tochigi Cancer Center



とちまるくん © 栃木県

11月8日は『いい歯の日』 歯科口腔外科のご紹介

がん治療における口腔ケアの役割

歯科口腔外科科長
土屋 欣之



専門的口腔ケアを行う医師と歯科衛生士

当センター歯科口腔外科は、がん患者さんの応急的な一般歯科治療、口腔機能低下に対するリハビリテーション、がん治療に伴う口腔合併症の予防と治療、口腔外科全般の診療に取り組んでおります。2022年度の当科の初診患者数は1,432名であり、その内、がん治療に伴う口腔内の合併症の予防と治療を729名に行いました。

がん治療は、様々な口腔合併症が生じることがあり、口腔合併症の発症によりQOL低下や経口摂取困難を生じ、がん治療継続が困難となり、その結果、がん治療上の制約を生じて、口腔内の状態が生命予後に関わることもあります。

がん治療中の口腔管理は、主に①手術時、②化学療法および放射線治療時、③緩和ケア時に行われています。①手術に際しては、全身麻酔時の歯の損傷や誤嚥の予防や術後肺炎の予防、②化学療法および頭頸部領域の放射線治療に際しては、口腔粘膜炎、歯周炎の急性化の予防と治療を行い、③がん緩和ケア時には、口腔乾燥などの治療が必要となることが多いです。

これらの歯科的対応の基本となるものが口腔ケアとなります。がん治療中の口腔ケアは、患者さんご自身で行っていただくセルフケアと医療者が行う口腔ケア（専門的口腔ケア）に分けられます。セルフケアでは、歯ブラシ以外の歯間ブラシやデンタルフロスなどの清掃補助用具の使用が重要であり、その使用法を習得していただきます。口腔粘膜炎の予防については、^{がんそう}含嗽剤（うがい薬）や保湿剤の使用を推奨しています。



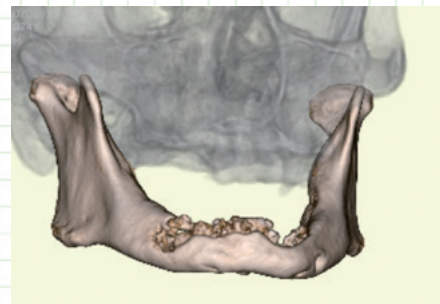
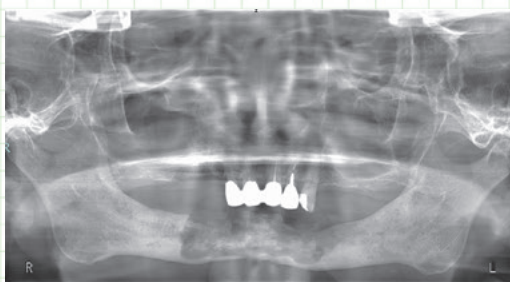
専門的口腔ケアで使用する機材

口腔粘膜炎や口腔乾燥症などにより、口腔機能の低下を生じることがあります。口腔ケアは単に口腔内の衛生状態を清潔に保つために行われるものではなく、口腔機能（食べる、話す）を回復させるためのリハビリとしても行われ、当センターでは3名の歯科衛生士が外来および病棟のがん患者さんへの専門的口腔ケアを行っています。

がん治療では、現在、様々な抗腫瘍薬が使用されていますが、いくつかの薬剤は歯科治療を行う上で注意が必要となります。例えば、アバスチン、カボザンチニブ、レンバチニブなど15種類の薬剤は、抜歯創部の治癒不全を生じます。エルプラットという薬剤は、歯科治療時の口腔咽頭の冷水刺激によって、口腔咽頭部の絞扼感を生じることがあります。また、骨転移に対して骨修飾薬が投与されますが、有害事象として生じる薬剤関連顎骨壊死の発症率は、骨粗鬆症の時に使用されるときよりも高確率で発症します。原則的には、骨修飾薬投与前に口腔内の診察を行い、必要な歯の抜歯を行った後に投与が開始されます。投与後は継続した歯周管理が非常に重要となります。薬剤関連顎骨壊死が発症した時は、薬物療法と外科療法を組み合わせた治療が行われます。



化学療法中に生じる口腔粘膜炎



薬剤関連顎骨壊死(下あごに腐骨を認める)

これらの口腔管理は、当科単独では、すべてのがん患者さんへ提供することが困難であります。原則、外来の患者さんであれば当科以外にかかりつけの歯科を持っていただくことを推奨し、かかりつけ歯科医院と連携することにより、質の高い歯科治療や口腔ケアなどの口腔管理が行われています。



➤ かかりつけ医を持ちましょう

「かかりつけ医」とは

日常的な診療や健康管理等を行ってくれる診療所やクリニックなどの、身近なお医者さんのことです。

「かかりつけ医」を持つメリット

- 普段の状態を把握しているので、ちょっとした状態の変化にも気づいてもらいやすい。
- 継続的な繋がりを持つことにより気軽に相談等ができ、生活指導や、重症化しないうちの早期治療が期待できる。
- 病気や症状、治療法などについての確な診断やアドバイスをしてもらえる。

「かかりつけ医」を持ち、専門的な治療や検査、手術、入院診療などが必要となった場合には、紹介状（診療情報提供書）によって適切な医療機関（紹介受診重点医療機関等）を紹介してもらうようにしましょう。



➤ 紹介受診重点医療機関となりました

国の制度見直しにより、紹介状を持たずに外来受診する患者等の「特別の料金」の額を引き上げます。

医療機関の機能・役割に応じた適切な受診を行うようお願いします。

当センターは2023年(令和5年)7月に紹介受診重点医療機関となったことに伴い、選定療養費を以下のとおり改定いたします。

改定日：令和6年1月1日

■当センターにおける「特別の料金」の内容（赤字・下線は、令和6年1月1日からの見直し内容）

対象となる患者	初診	他の医療機関からの 紹介状なしで受診する患者
	再診	当院から、他の医療機関への 紹介状を交付されたにもかかわらず、当院を受診する患者
特別の料金 (選定療養費)	初診	医科・歯科 2,820円 ⇒ 7,700円
	再診	医科・歯科 なし ⇒ 3,300円

※ 緊急その他やむを得ない事情がある場合は、「特別の料金」を徴収しないことがあります。

※ 「特別の料金」の額には、消費税分が含まれます。

- 一部の病院に外来患者が集中し、患者の待ち時間や勤務医の外来負担等の課題が生じています。
- このため、国の制度により、当院は、紹介状を持たずに外来受診する患者等のみなさまから、一部負担金（3割負担等）とは別に、「特別の料金」を徴収することとされています。
- まずはお住まいの地域の医療機関を受診し、必要に応じて紹介を受ける等、医療機関の機能・役割に応じた適切な受診を行うよう、お願いいたします。

当センターは、2023年7月1日から紹介受診重点医療機関となりました。紹介受診重点医療機関とは、外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るために都道府県ごとに決定される医療機関です。

普段はかかりつけ医機能を担う医療機関（近隣の診療所やクリニック）を受診し、必要に応じて紹介を受けて紹介受診重点医療機関を受診する。その後状態が落ち着いたら逆紹介を受けてかかりつけ医に戻る、といった受診の流れを明確にするのが目的です。

かかりつけ医との役割分担により、患者さんが適切な検査や治療をよりスムーズに受けられるようになります。また、待ち時間が短縮されるなど、患者さんやご家族の外来受診の負担軽減にもつながります。

当センターが紹介受診重点医療機関となったことに伴い、紹介状がない受診の場合の特別の料金（選定療養費）が左表のとおり改定となります。

2023年11月1日より、栃木県立がんセンターの ロゴマークが新しくなりました！

●新ロゴマークのご紹介●



このロゴマークのコンセプトは、活力・生命力・平和を象徴する緑と、栃木県のシンボルである栃の木を基調としています。

栃の葉をデザインした5枚の葉は、当センターの5大事業を表しており、5大事業はそれぞれが独立した事業ではなく、全てを連携させていくことで患者さんや地域を支えることに繋がり、1本の線で全ての事業が繋がることを表現しています。

また、5枚の葉には、「患者さん」「県民」「地域の医療者」「がんセンター職員」そして「未来」へ繋ぐという意味も込められています。

●当センター職員内で募集、決定しました●

ロゴマークは当センターの職員よりデザイン募集を行い、応募のあった全てのデザインに対する全職員による投票と、厳正な審査により決定しました。

採用された新ロゴマークを制作した小笠原看護師には感謝状が贈呈されました。

ー小笠原看護師のコメントー



母は8年前までがんセンターの患者でした。そして「がんを克服したらいつかがんセンターにボランティアに行きたい。病院に恩返しがしたいな。」と話していました。

残念ながら母の希望は叶うことはありませんでしたが、こうしてまた違った形で、母に代わってがんセンターに恩返しができたかなと思っています。

ロゴマークには、これからも地域に愛される、親しみやすい病院であるようにとの思いを込めてデザインしました。

これからも、栃木県立がんセンターは、患者さんをはじめ県民の皆さまに、職員一丸となってより良いがん診療を提供していきます。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 とちぎ

リレー・フォー・ライフとは、がんサバイバー（患者）、ケアギバー（家族、遺族、支援者）をたたえ、地域社会全体でがん征圧を目指すチャリティ活動です。

今年で第11回を迎え、9月2日から9月3日にかけて壬生町総合公園陸上競技場で開催されました。

当センターは後援施設として、この活動に11年間参加しています。



安藤病院長
による乳がんについての講演を
はじめ、当センターの医師、歯科衛生士、
管理栄養士なども登壇しました。



これからも都道府県がん診療連携拠点病院として、皆さんと共にがん征圧活動に携わっていきます。



栃木県立がんセンター がん相談支援センター



がん相談支援センターは、患者さんやご家族をはじめ、どなたでもご利用いただける、**がんに関する相談窓口**です。相談員があなたの気持ちによりそいながら、これからどうしていくのかを考えるお手伝いをいたします。

例えばこんなときにご相談ください

“がんの疑い”
と言われたが
不安でたまらない



**がんの治療や
療養について**
情報がほしい

**医療費の
ことが心配**

**がんの治療は、
妊娠出産に影響
があるの？**



**仕事を続け
ながら治療は
できるの？**

**主治医以外の
意見も
聞いてみたい**

○ご相談いただいた内容が外部に漏れることはありませんので、ご安心ください。

○主治医に代わって治療の判断をするところではありませんので、ご留意ください。

ご相談は、面談や電話で対応しております。

直通電話 028-658-6484

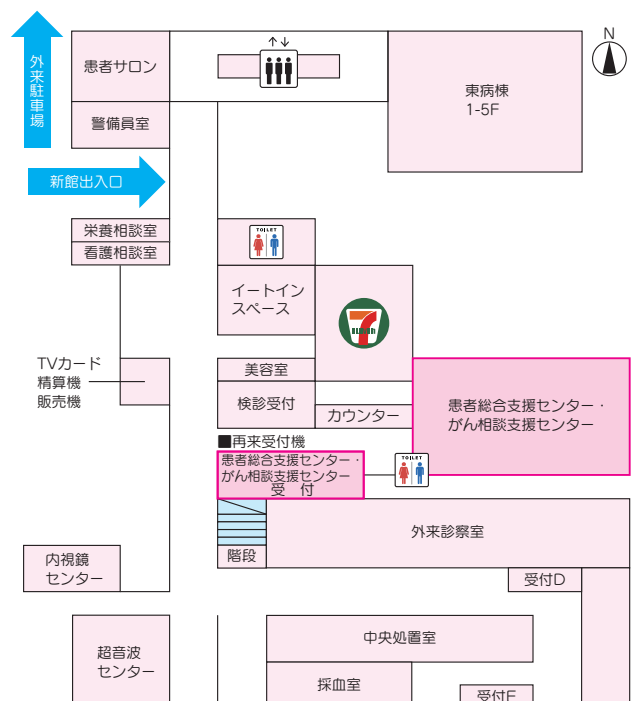
平日 8:30～17:00(土日・祝日・年末年始を除く)

相談は**無料**で、**予約不要**です。
お気軽にご相談ください。



がん相談支援センター内に、
「がん」に関する情報誌などを
展示しています。
お気軽にご覧ください。

患者サロンは、患者さんや
ご家族の方向土が気軽に
語り合い、交流できる場です。
ご希望の方は相談員に
お声がけください。



当センターへのお問い合わせ

(代表)

028-658-5151

ご予約は以下の窓口までご連絡ください

予約センターのご案内

予約専用電話

028-658-5012

予約受付時間



平日 8:30から16:30

予約時にお聞きすること

① 診察券番号(受診歴がある方のみ)

② 受診科と医師名

③ ご希望の日時

※当センターは、初診、再診ともに予約制となっています。予約センターに電話のうえ、受診日をご予約ください。また、予約枠に制限があり、ご希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。

～当日、患者さんにお持ちいただくもの～

- ☐ 保険証、各種医療証
- ☐ 診療情報提供書(紹介状)

- ☐ 各種検査結果、画像データ(お持ちの方のみ)
- ☐ お薬手帳(お持ちの方のみ)
- ☐ 当センターの診察券(お持ちの方のみ)

● 病診連携に関するお問い合わせ

地域連携チーム

028-611-5503

平日 8:30 から 17:15

● がんに関するご相談

患者総合支援センター・
がん相談支援センター

028-658-6484

平日 8:30 から 17:00

● がんの遺伝カウンセリングや、ゲノム医療についての予約やお問い合わせ

ゲノムセンター

028-611-5480

平日 8:30 から 17:00

セカンドオピニオン外来のご案内

■ 平日午後

	月	火	水	木	金
消化器外科	主に胆・膵		菱沼 正一		
	主に肝		尾澤 巖		尾澤 巖
	主に大腸			藤田 伸 松下 尚之 藤田 剛 林 雅人 (※週毎の交代制)	
	主に食道・胃			横島 一彦	横島 一彦
頭頸部腫瘍・耳鼻咽喉科 骨軟部腫瘍・整形外科	菊田 一貴				

■ 土曜日午前

当分の間は土曜日の
セカンドオピニオン
外来を中止します

※予告なく変更となる場合があります

予約センター

028-658-5012(直通) 受付時間 平日 8:30 から 16:30



交通のご案内

電車・バス

- JR宇都宮線「宇都宮駅」より
⇒西口から関東バス「江曾島行(11番のりば)」に乗車。「がんセンター前」で下車。
横断歩道を渡る。徒歩1分。(乗車時間約25分)
- 東武宇都宮線「江曾島駅」より
⇒東口から関東バス「JR宇都宮駅行」に乗車。「がんセンター前」で下車。徒歩1分。
(乗車時間約5分)

自動車

- 東北自動車道「鹿沼I.C.」より
⇒東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「滝谷町」交差点を右折南進し、JR陸橋
を超え3つ目の信号「八千代1丁目」を左折。(約9.4km)
⇒東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「宮環鶴田陸橋」を右折。「下砥上町」
アンダーに入ってすぐ江曾島方向へ左折し7つ目の信号を左折。(約8.2km)

あいの
Philosophy
And
Humanity
こころ vol.31

11月号

令和5年(2023)
11月25日発行

発行 地方独立行政法人栃木県立がんセンター 広報広聴センター
〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南4-9-13
TEL: 028-658-5151(代) FAX: 028-658-5669



がんセンターの情報は 栃木県 がん 検索 URL <https://www.tochigi-cc.jp>